

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ユースタイルラボ			公表日	2025年 5月 1日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			児童指導員2名及び指導員2名以上が常駐している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		指導訓練室はフラットな仕上げになっている	水回りは1段上がるものの10cm以上あり、躓くものではないが最初の間は声掛けして注意喚起することになっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			学習スペースと生活スペースを分けているのでメニューにあった利用が可能	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			要望に応じて個別スペースが利用できる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			カンファレンスを通じて各利用者の情報を出来るだけ職員間で共有し支援内容やメニューの改善に取り組んでいる	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			定期的に保護者向けのアンケート調査を行い情報を集約し職員にフィードバックしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			支援終了時のミーティングやカンファレンスを通じて職員からの意見を聞く機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		現状第三者委員会は設置出来ていない、今後も継続して検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		オンラインの研修会を中心に参加している	コロナは落ち着いたが、多人数での研修会は控えてきたので今後は参加を検討したい
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			利用開始時に説明し、事業者内の閲覧ファイルを備えている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○			ニーズ調査を行い子どもの状況に合わせた目標を設定し計画書を作成している	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			支援計画書作成会議（担当者会議）において情報交換し、計画書を作成している	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			職員間で各利用者の目標を共有し、支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			個別支援カードを作成し、日々の行動を記録している	
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		本人支援については、5領域を網羅した支援プログラムを活用した支援計画としている	「移行支援」及び「地域支援・地域連携」については、今後の支援方法を検討していきたい

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			カンファレンス時に適宜立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			タブレットやカードゲーム等を活用し、出来るだけ多くの利用者が一緒に出来るプログラムを取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			個別学習と集団でのゲーム等を時間配分している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			その日の利用者の特徴等を全員で把握し担当分けしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			利用者毎の状況を確認して職員間で情報交換している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援内容を記録し次回に繋がる様にしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			6ヶ月毎にモニタリングを行い計画書を作成している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			学習（宿題）を中心に季節の作品作りやゲーム等SSTを取り入れた活動をしている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			学習の開始時間や内容の選択、生活（遊び）の時間のメニュー選択など利用者本人が考えられるような設定をしている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○			関係機関との連携について、どのように進めていくべきか検討する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○				必要に応じて学校での打合せに参加している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○				出来る限り情報を収集するようにしている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○				情報請求があれば対応出来るように資料を保管している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○			オンラインの研修会を中心に参加している
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			○		障がいのない子との交流機会は殆どないので、今後はイベント等機会を作っていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○				中央区地域自立支援協議会児童部会に加盟している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				送迎時やメール・電話等の連絡に加え必要に応じて面談を行っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			○		保護者からの問合せがあれば相談に応じるようにしたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明し事業所内に閲覧ファイルを備えている	

保護者への説明等	37	個別支援計画を作成する際には、利用者等の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、利用者等の意向を確認する機会を設けているか。	○			個別アンケートによりニーズを確認し計画書に反映している	
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○			個別支援計画書を確認して頂いてから署名を頂いている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			保護者からの相談には適宜対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			○		今後検討していきたい
	41	利用者等からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			管理者を中心に体制を整え即時対応出来るようにしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者等に対して発信しているか。	○			インスタ・ブログ等で活動内容を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			各種重要書類の管理を徹底している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			毎回連絡表にて情報交換している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			○		事業所内での活動が多く、今後検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			事業所内に閲覧ファイルを備え付けるとともに訓練は避難訓練時に実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			BCPを策定し訓練は避難訓練時に実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			利用開始前に個別アンケートにより確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			○		食事・おやつの提供は行っていない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			毎年4月に安全計画を見直し、訓練は避難訓練時に実施している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			契約時に説明し緊急時の連絡先等を確認している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ファイルを備え全員で確認している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			虐待防止委員会を中心にカンファレンスで実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者等に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○			虐待防止委員会が身体拘束防止委員会を兼ねているので、その中で計画案等を検討している		